

今年度の巡視活動結果 初めて聞くクマ剥ぎとは

平成30年度 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議(秋季)

平成30年度の夏山シーズンを終える、11月17日(土)に鶴岡市朝日中央コミュニティセンター(すまいる)において、秋季の巡視員会議を開催しました。



巡視員の意見に聞き入る添谷課長

向けて、安全で効果的な巡視活動を引き続き継続して行きたい。」と挨拶がありました。

まず、事務局より今年度の巡視員による活動結果報告と、合同パトロール・看板整備についての結果報告、スノーモービルの乗り入れ関係、人工林から天然林への誘導、マツノクロホシハバチの対応について報告しました。



東北地方環境事務所国立公園課長

会議は、巡視員5団体16名、東北地方環境事務所国立公園課長、国有林野職員(東北森林管理局・関係森林管理署・朝日庄内森林生態系保全センター)が出席しました。

会議に先立ち東北森林管理局添谷計画課長より「今年度の朝日山地における保護・管理のために、入林者に対するマナー啓発など、各団体、各巡視員の皆様による巡視活動に対して感謝を述べられ、本日の会で、意見交換、情報交換をとおして情報共有を図り、来年度に



巡視員からの質問

また、今年度初めて朝日庄内森林生態系保全センターが行った、「クマ剥ぎ対策についての検討会」の様子についても報告しました。山形県におけるニホンジカ・ツキノワグマの目撃情報と、早池峰山周辺の防鹿柵の設置状況も併せて情報提供しました。

最後に、笠井朝日庄内森林生態系保全センター所長より、「今後も、皆様からの情報提供、ご意見をいただきながら、保安全管理を進めて行きたい。」と締めめの言葉がありました。

林野庁東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター